

初秋の味 梨・いちじくの出荷始まる



南部町の特産品である梨といじくがそれぞれ収穫時期を向かえ、梨は豊水とハウス20世紀梨が8月6日、露地の20世紀梨が28日、いちじくは17日にそれぞれ初出荷されました。どちらも7月後半からの好天に恵まれ、まずまずの出来です。これらは主に近隣の店舗や京阪神で販売されます。

保育園で最後の夏 保育園お楽しみ会



8月9日夕方から、つくし保育園で年長組（5歳児）のお楽しみ会が行われ、園庭で育てたスイカを収穫した後、子ども達と先生で夕食を作り、ゲームや花火などを楽しみました。子ども達は、夕食のカレーの具やサラダに使う野菜を自分たちで切り、慣れない包丁に最初は戸惑い気味でしたが、最後には慣れてきた様子で楽しそうに調理していました。園庭での夕食で、自分たちで作ったごはんはおいしいですかと先生に聞かれると、「おいしい」と元氣よく返事をしていました。

親子で楽しむ身近な自然 親子自然観察会



8月3日、新宮谷公園で親子自然観察会が行われました。参加した20人の親子は、南部町在住の自然観察指導員 桐原真希さんと一緒に公園内の生き物を観察、採集した後、名前や特徴を図書館の本で調べました。1時間の間に、水中21種、陸上7種、計28種類の生き物採取し、子ども達は、普段はそれほど注意して観察する機会のない生き物の楽しさに夢中になり、終了後の感想文に「また参加したい」と書き込んでいました。

水環境とその保全 ダム貯水池の水環境に関する講演会



環境問題への関心の深まりをうけて、7月30日、総合福祉センター1しあわせでよりよい水環境の創造と、水への関心を高めるため、官学協同でダム貯水池に起こる水環境問題について講演が行われました。講師の鳥取大学工学部土木工学科 矢島啓助教授は賀祥ダム貯水池「緑水湖」の事例も取り上げ、スライドで写真、イラストを交えながら分かりやすく貯水池に起こる水質現象や、問題に対応するための計測、シミュレーションの技術について話されました。

水害から地域を守る 水門等操作員表彰伝達



表彰を受ける野口肇さん

長年にわたる樋門管理の功績を称えて、国土交通省中国地方整備局長表彰の伝達式が8月2日、役場法勝寺庁舎で行われ、野口肇さん（福成）、森岡幹雄さん（福成）が表彰を受けられました。樋門とは洪水時に河川の水が宅地や農地に逆流しないように設置されている施設で、操作員の方には水の状況を見ながら水門の開閉をさせていただいています。野口さんは東安寺排水樋管、森岡さんは下瀬排水樋管の樋門操作に平成7年11月から10年間従事されています。

自家焙煎コーヒーで一息 レストハウス営業再開



営業時間 10時～17時、定休日 月曜・火曜

休業中だった緑水湖畔のレストハウスがたぐさんのファンからの強い要望で、7月26日からメニューを一新して役場直営で営業を再開しています。店内の装飾も印象が変わり、山野草の盆栽や水墨画が飾られた落ち着いた雰囲気となりました。四季折々に変化する湖畔の風情に欠るぎながら、自家焙煎コーヒーをお愉しみください。レストハウスは緑水湖国道対岸の雑木林の中に見え隠れしています。

南部町の企業を紹介します③ 株式会社 細田企画



株式会社細田企画は顧客からの「こんな商品がほしい」という要望に応じて、オリジナルの機械やシステムを開発する企業です。取り扱う種目は建材、機械、金属、窯業、電気部品など多岐にわたり、社員20名で製品の開発、設計、製造、販売すべてを行っています。現在までに100前後の製品を開発しており、ほとんどが1台限りの製品です。設立当初は米子市に会社を構えていましたが、業務拡大に伴い、平成16年12月に南部町（旧会見町）に営業拠点を移しました。中小企業長官賞、中国地域ニュービジネス大賞最優秀賞を受賞した建

築解体工事で発生する石膏ボードの再資源化を行うための分別処理機「プラスターボ」によって全国的な知名度も高まり、地元だけではなく、他県からも商品開発の依頼を受けるようになりました。環境保全に対応した商品の開発も計画しており、新エネルギーとしてとっとり花回廊での木質バイオマス（再生・利用可能な有機性資源）事業への取り組みも行っていきます。会社外壁に書かれた「Circular Sサーカス」という文字について、「プロの集団であるサーカスのような企業を目指して掲げています。」と話していただきました。

株式会社 細田企画



所在地	南部町天萬1937
設立	昭和62年4月

